

多国籍企業 Jobin Yvon HORIBAグループ 歴史 展望 ,そして経営理念

Dr. Gilbert Hayat
Jobin Yvon S.A.S
President



2003年は、堀場製作所の創立50周年であると共に、ジョバン・イボン社 (JY) がHORIBAグループに参入してから6周年と記念すべき年である。

JYは、1819年にJean-Baptiste François Soleilが設立して以来、3世紀に渡り輝かしい歴史を持つ光学機器メーカーである。当社は、フレネル、アラゴ、バビネなど歴史に残る著名な科学者たちと協力して数々の製品を世に送り出してきた。当社の社名にその名を残すAmédée JobinとGustave Yvonは、フランスの総合科学技術学校エコール・ポリテクニクを卒業後、世界で初めてファブリ・ペロー干渉計を開発した。

この良き伝統は今も引き継がれており、優れたシーズの実用化を目指して、世界中の最先端研究機関と積極的に共同研究を行っている。例えば、カレッジ・ド・フランスのA. Labeyrie教授とはホログラフィックグレーティングを、リール大学のDehaye教授とは顕微ラマン分光を、エコール・ポリテクニクのDrevillon教授とは位相変調分光エリプソメータを開発している。このような共同研究や独自開発によって、JYは高品質で信頼性の高い製品を提供できる世界の光学機器メーカーのリーダーだと認められている。

1960年代から70年代初頭にかけて、JYはホログラフィックグレーティングの設計及び生産技術を確立した。この頃取得した膨大な特許、例えば収差補正や分光システムに関する特許は、今もなお際立って重要なものである。

1973年にアメリカに初めて拠点を設けて以来、ドイツ、イタリア、イギリス、更に中国へと進出し、グローバル企業へと着実に成長してきた。一方、ラマン分光装置や分光エリプソメータなどの優れた製品・技術を持つ企業や事業部門をグループに加えることにより、事業分野を急速に拡大させてきた。

1988年：アメリカ Spex社 (分光光度計、ラマン分光装置、蛍光分光光度計)

1995年：アメリカ Dilor社 (ラマン分光装置)

1996年：フランス Sofie社 (半導体製造のプロセス制御)

1999年：アメリカ サーモエレクトロン社の蛍光分光事業

2002年：オランダ ロイヤル・フィリップス・エレクトロニクス社のレーザ・偏光計測事業

現在、年間売上高1億ユーロ達成を目標に、全世界70カ国以上で営業活動を展開しており、ヨーロッパ、アメリカ、アジアの売上げ比率はほぼ同じレベルに達している。

JYは1997にHORIBAグループの一員となった。分光分野のパイオニアという伝統を守りながら、分光機器のリーディング・サプライヤーであり続けたいと願っている。この願いは、HORIBAグループのモットーである“Explore the Future”と軌を一にするものである。これを実現するために、製品・技術の自社開発、先端研究所と共同研究、HORIBAグループの優れた製造技術、品質管理、財務管理システムの導入などにより、輝かしいJY創業200周年を迎えたいと考えている。

JYは、グローバル企業集団の一員として、ヨーロッパやアメリカ、アジアの文化を正しく認識し、理解している。これを実践するために次のような規範を設けている。

率直かつ誠実 (Honesty and Integrity)

顧客第一 (Customer First)

市場の声の尊重 (Respect and Listen to People)

ひたむきさとチームワーク (Enthusiasm and Team Spirit)

改革に向けた広い心 (An Open Mind to Innovation)

JY成長の鍵を握り、推進力となっているのが従業員である。JYグループには、現在約550名の従業員がおり、うち70名が博士号を有している。彼らの潜在能力と文化的多様性こそが、当社最大の資産である。トレーニングを実施したり、新たなチャレンジに対しても積極的に支援するなど、彼らの持てる力を引き出すように常々努力している。これらの教育・訓練を通して創造性が養われ、21世紀のJY HORIBAグループをリードする人材が生み出され、社会への門戸が大きく開かれることを期待している。

事業発展のためには、製品の多様化と既存の技術やノウハウを継続するという自然な流れとのバランスを考慮した基本的な事業戦略が必要となる。

JYが選択した利益性に富んだ独自の戦略とは、蓄積された基盤技術をベースとして成長性の高い分野を見い出し、そしてグレーティングで学んだ経験を他の分光機器分野に移行して多様な製品を開発することであった。その結果、科学技術レベルを高め、技術的オリジナリティを維持する一方で、市場を確実に拡大することができた。ここ数年の国際的な特許の取得数の増加は、JYの変革のペースが加速していることを裏付けている。

現在、JYは、製品・技術を7つの分野に分けて事業を展開している。

グレーティング及びOEM機器 (多チャンネル検出器)

発光分光分析装置

ラマン分光測定装置

分光計測システム

蛍光分光測定装置

薄膜計測機器 (分光エリブソ)

法医学鑑識用計測器

このように変化を前向きに捉え挑戦する姿こそが、JYのバイタリティを示すものである。HORIBAグループの一員としてグローバルな事業拡大が、JYの将来を約束すると同時に、新しい技術へのあくなき探求心の源となっている。